

研究課題名	当院口腔外科における口腔扁平上皮癌患者の再発・転移に関する後方視的研究					
研究責任者名	広島大学医系科学研究科口腔腫瘍制御学	教授	柳本 惣市			
研究期間	許可日 ~ 2027年12月31日					
対象者						
2001年1月から2025年12月の間に、広島大学病院顎・口腔外科及び口腔顎顔面再建外科で口腔扁平上皮癌の手術による治療を受けられた患者さん						
意義・目的						
口腔扁平上皮癌に対する治療成績は、画像診断精度の向上や遊離皮弁による再建の進歩とともに著しく向上しています。一方で、局所再発症例では、救済手術や化学放射線療法を行っても、その救済率は決して高いとは言えません。そのため、いかに局所再発をさせないような一次治療を行うかが重要になります。本研究では、局所再発した口腔扁平上皮癌症例について、その原因を解明するために後方視的に調査し検討を行います。						
方法						
本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は：身長、体重、性別、年齢、BMI、喫煙歴、血液検査結果、発病の有無、病期、生存期間、病理組織診断結果、手術記録、CT、MRIの画像、超音波検査です。また、手術時に切除した組織標本も用いて免疫染色（Ki-67, p53, FGFBP1, MMP14, β -catenin, Integrin αv , Integrin $\beta 1$, Integrin $\beta 6$, Integrin $\beta 8$, FAK, pFAK, PD-1, PD-L1, claudin-1）を行います。取得した試料や試料・情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。外部への試料・情報の提供はありません						
利用または提供を開始する予定日：						
本学における実施許可日以降						
共同研究機関 ありません。						
試料・情報の管理責任者						
広島大学医系科学研究科口腔腫瘍制御学 教授 柳本 惣市						
個人情報の保護について						
調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。						
研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。						
問合せ・苦情等の窓口						
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel : 082-257-5667						
広島大学医系科学研究科口腔腫瘍制御学 助教 小泉 浩一						